



# 兼松株式会社

## 2025年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

(見通しに関する注意事項)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

# 2025年3月期第1四半期 決算概況

- 営業活動に係る利益および親会社所有者帰属四半期利益ともに、過去最高益を達成
- 親会社所有者帰属四半期利益の通期見通しに対する進捗率は30%と順調な滑り出し

## 2025年3月期 第1四半期実績

(単位：億円)	24/3月期 1Q実績	25/3月期 1Q実績	前年 同期比	増減率
収益	2,245	2,510	+265	+12%
営業活動に係る利益	96	118	+22	+23%
親会社所有者帰属四半期利益	54	75	+20	+37%
(調整後) 営業キャッシュ・フロー <sup>1)</sup>	3	61	+58	
投資活動によるキャッシュ・フロー	21	△26	△47	
	24/3月末	24/6月末	前期比	
ネットDER <sup>2)</sup>	1.00倍	0.95倍	△0.05倍	
自己資本比率 <sup>3)</sup>	22.0%	23.0%	+1.0%	

1) (調整後) 営業キャッシュ・フロー = 会計上の営業キャッシュ・フロー ± 運転資本増減 - リース負債の返済  
 2) ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本 (親会社の所有者に帰属する持分合計)  
 3) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

## 2025年3月期 通期見通し

(単位：億円)	25/3月期 通期見通し	1Q 進捗率
収益	11,000	23%
営業活動に係る利益	425	28%
親会社所有者帰属当期利益	250	30%
一株当たり年間配当金	100円	
連結配当性向	33.4%	

4) 見通しの前提条件：為替レート1米ドル=135円、円金利横ばい、外貨金利の下落を見込む

# 損益の状況

## 2025年3月期 第1四半期 実績

(単位：億円)	24/3月期 1Q実績	25/3月期 1Q実績	前年 同期比	増減率
<b>収益</b>	<b>2,245</b>	<b>2,510</b>	<b>+265</b>	<b>+12%</b>
売上総利益	312	357	+45	+14%
販売費及び一般管理費	△248	△276	△28	-
その他の収益・費用	32	37	+5	+17%
<b>営業活動に係る利益</b>	<b>96</b>	<b>118</b>	<b>+22</b>	<b>+23%</b>
利息収支	△13	△12	+0	-
受取配当金	8	8	△0	-
その他の金融収益・費用	1	1	+0	-
金融収益・費用	△4	△3	+0	-
持分法による投資損益	△3	△0	+3	-
<b>税引前四半期利益</b>	<b>89</b>	<b>114</b>	<b>+26</b>	<b>+29%</b>
法人所得税費用	△28	△38	△10	-
四半期利益	60	76	+16	+27%
<b>親会社所有者帰属 四半期利益</b>	<b>54</b>	<b>75</b>	<b>+20</b>	<b>+37%</b>

### ■ 収益

電子・デバイスセグメントや車両・航空セグメントを中心に、前年同期比で265億円の増収

### ■ 営業活動に係る利益

売上総利益の増加に伴い、22億円の増益

### ■ 税引前四半期利益

営業活動に係る利益の増加に伴い、26億円の増益

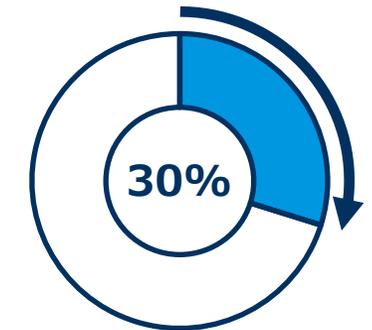
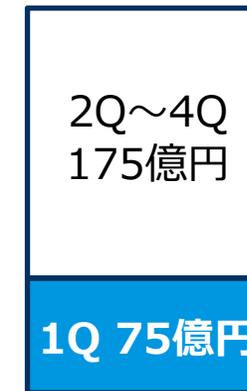
### ■ 親会社所有者帰属四半期利益

第1四半期過去最高益となる75億円  
4ページ「セグメント別四半期利益」参照

## 2025年3月期 見通し

(単位：億円)	25/3月期 通期見通し	進捗率
収益	<b>11,000</b>	23%
営業活動に係る利益	<b>425</b>	28%
税引前当期利益	<b>380</b>	30%
親会社所有者帰属当期利益	<b>250</b>	30%
連結配当性向	<b>33.4%</b>	

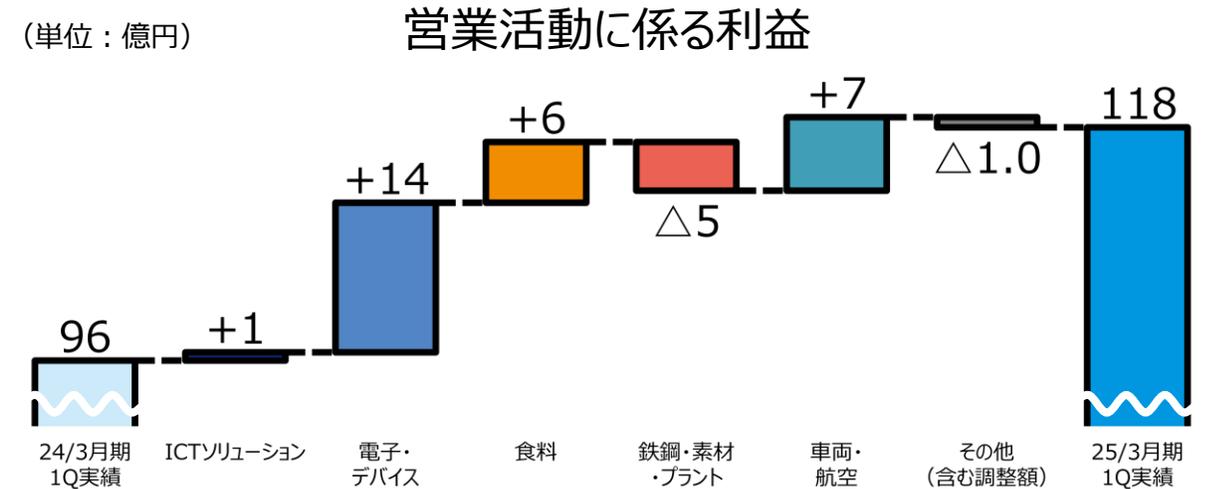
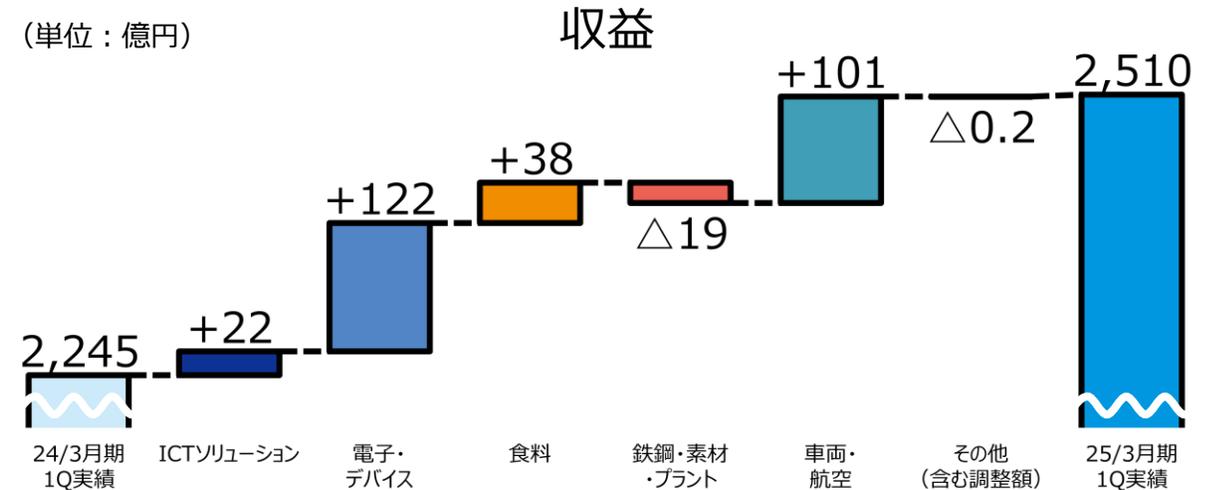
親会社所有者帰属当期利益の見通し  
通期見通し250億円 1Q進捗率



1) 見通しの前提条件：為替レート1米ドル=135円、円金利横ばい、外貨金利の下落を見込む

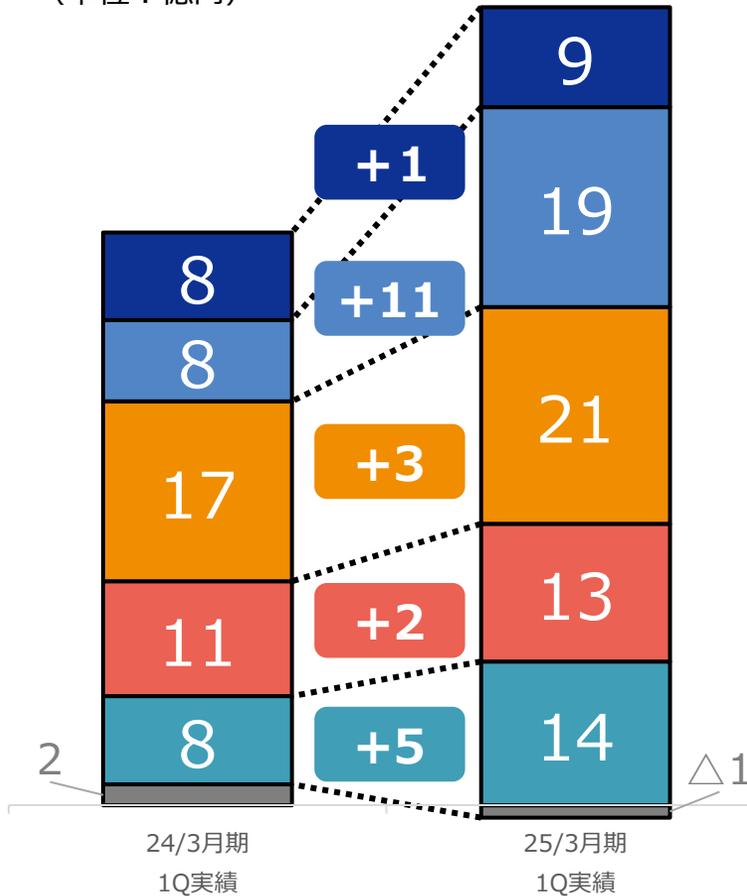
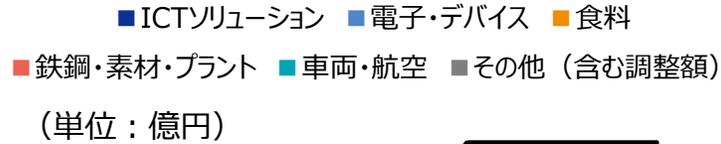
# セグメント情報

(単位：億円)	24/3月期 1Q実績	25/3月期 1Q実績	前年 同期比	増減率	25/3月期 通期見通し	進捗率
<b>ICTソリューション</b>						
収益	149	171	+22	+15%	900	19%
営業活動に係る利益	13	14	+1	+6%	137	10%
親会社所有者帰属四半期利益	8	9	+1	+14%	96	10%
<b>電子・デバイス</b>						
収益	488	610	+122	+25%	2,800	22%
営業活動に係る利益	14	28	+14	+103%	87	32%
親会社所有者帰属四半期利益	8	19	+11	+147%	53	36%
<b>食料</b>						
収益	839	877	+38	+5%	4,100	21%
営業活動に係る利益	31	37	+6	+18%	77	48%
親会社所有者帰属四半期利益	17	21	+3	+20%	33	62%
<b>鉄鋼・素材・プラント</b>						
収益	517	498	△19	△4%	1,950	26%
営業活動に係る利益	26	21	△5	△18%	74	29%
親会社所有者帰属四半期利益	11	13	+2	+20%	38	34%
<b>車両・航空</b>						
収益	253	354	+101	+40%	1,200	29%
営業活動に係る利益	10	17	+7	+67%	50	35%
親会社所有者帰属四半期利益	8	14	+5	+63%	30	45%
<b>その他（含む調整額）</b>						
収益	5	5	△0.2	△3%	50	10%
営業活動に係る利益	1	0	△1.0	△99%	0	-
親会社所有者帰属四半期利益	2	△1	△0.6	-	0	-
<b>合計</b>						
収益	2,245	2,510	+265	+12%	11,000	23%
営業活動に係る利益	96	118	+22	+23%	425	28%
親会社所有者帰属四半期利益	54	75	+20	+37%	250	30%



# セグメント別四半期利益

## 親会社所有者帰属四半期利益



## 前年同期比の主な増減要因

### ICTソリューション

**1億円増益**

- 人件費、オフィスリニューアル費用などの経費が増加した一方、製造業を中心としたネットワークやストレージ関連の案件が堅調に推移したことにより増益

### 電子・デバイス

**11億円増益**

- 半導体部品・製造装置事業：**  
半導体部品は好調な前年同期比で減速し、半導体装置は半導体市況の回復の遅れに伴い苦戦し減益
- モバイル事業：**販売台数増加に加え、店舗再編などにかかるコストが先行した前年同期比で増益

### 食料

**3億円増益**

- 食品事業：**冷凍フルーツや飲料原料の販売、海外加工食品ビジネスなどが堅調に推移
- 食糧事業：**魚粉・魚油の海外販売が好調に推移したことに加え、米などの穀物も堅調に推移し、増益

### 鉄鋼・素材・プラント

**2億円増益**

- 鉄鋼事業：**市況低迷により鋼管の販売が軟調に推移し、前年同期比で減益
- プラント事業：**ODA案件の取引が好調に推移し増益
- 環境関連事業：**資産流動化による売却益もあり増益

### 車両・航空

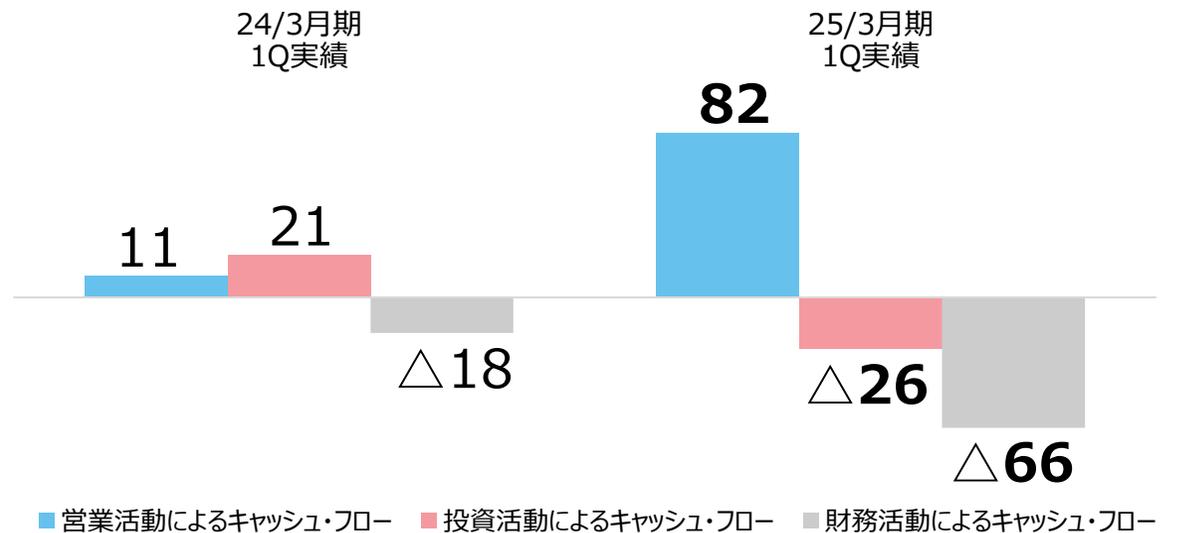
**5億円増益**

- 航空宇宙事業：**航空機・防衛関連の取引が好調に推移し増益
- 車両・車載部品事業：**海外向け取引が好調に推移し増益

# キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー  
営業収入の積上げなどにより、**82億円のキャッシュ・イン**
- 投資活動によるキャッシュ・フロー  
有形固定資産の取得や子会社の取得等の事業投資の実行などにより、**26億円のキャッシュ・アウト**
- 財務活動によるキャッシュ・フロー  
配当金の支払いやリース負債の返済などにより、**66億円のキャッシュ・アウト**

(単位：億円)	24/3月期 1Q実績	25/3月期 1Q実績	前年 同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	11	82	+72
投資活動によるキャッシュ・フロー	21	△26	△47
フリーキャッシュ・フロー	32	57	+25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18	△66	△48
(調整後) 営業キャッシュ・フロー <sup>1)</sup>	3	61	+58



1) (調整後) 営業キャッシュ・フロー = 会計上の営業キャッシュ・フロー ± 運転資本増減 - リース負債の返済

# 財政状態

## ■ 総資産

営業債権の減少などがあった一方、固定資産の増加などにより、**22億円の増加**

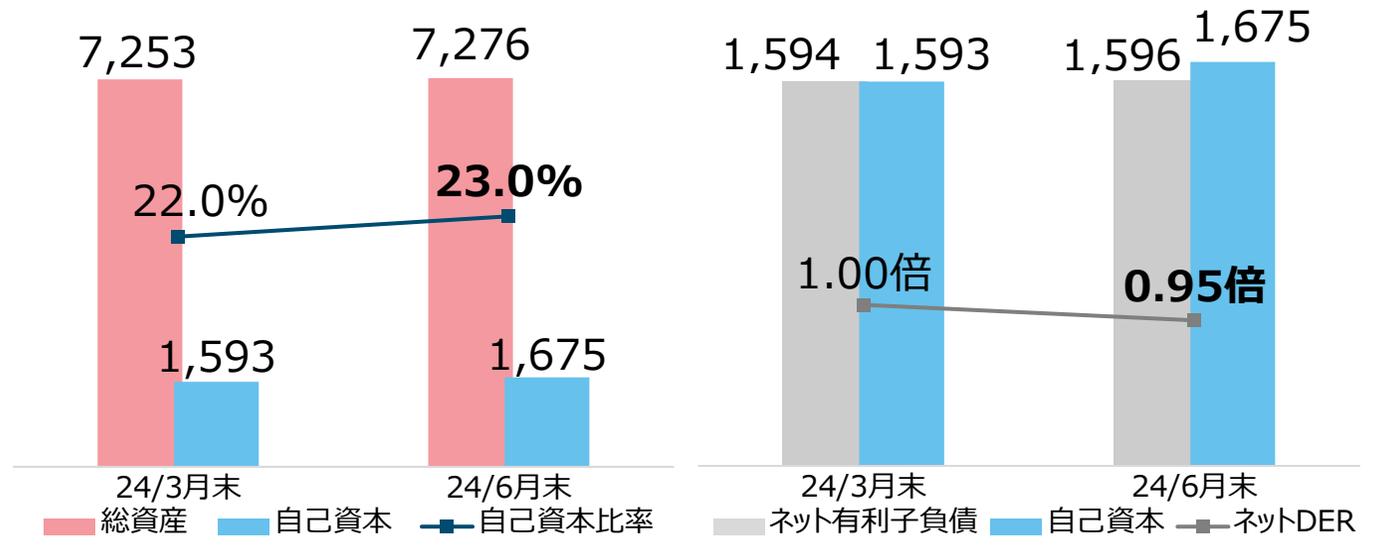
## ■ ネット有利子負債

ほぼ横ばいで推移し、**2億円の増加**

## ■ 自己資本

親会社の所有者に帰属する四半期利益の積上げおよび円安や株高に伴うその他の資本構成要素の増加などにより、**82億円の増加**。自己資本比率は**23.0%**、ネットDERは**0.95倍**

(単位：億円)	24/3月末	24/6月末	増減
総資産	7,253	7,276	+22
ネット有利子負債	1,594	1,596	+2
自己資本 <sup>1)</sup>	1,593	1,675	+82
自己資本比率 <sup>2)</sup>	22.0%	23.0%	+1.0%
ネットDER <sup>3)</sup>	1.00倍	0.95倍	△0.05倍
PBR <sup>4)</sup>	1.37倍	1.36倍	△0.01倍



1) 自己資本は資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

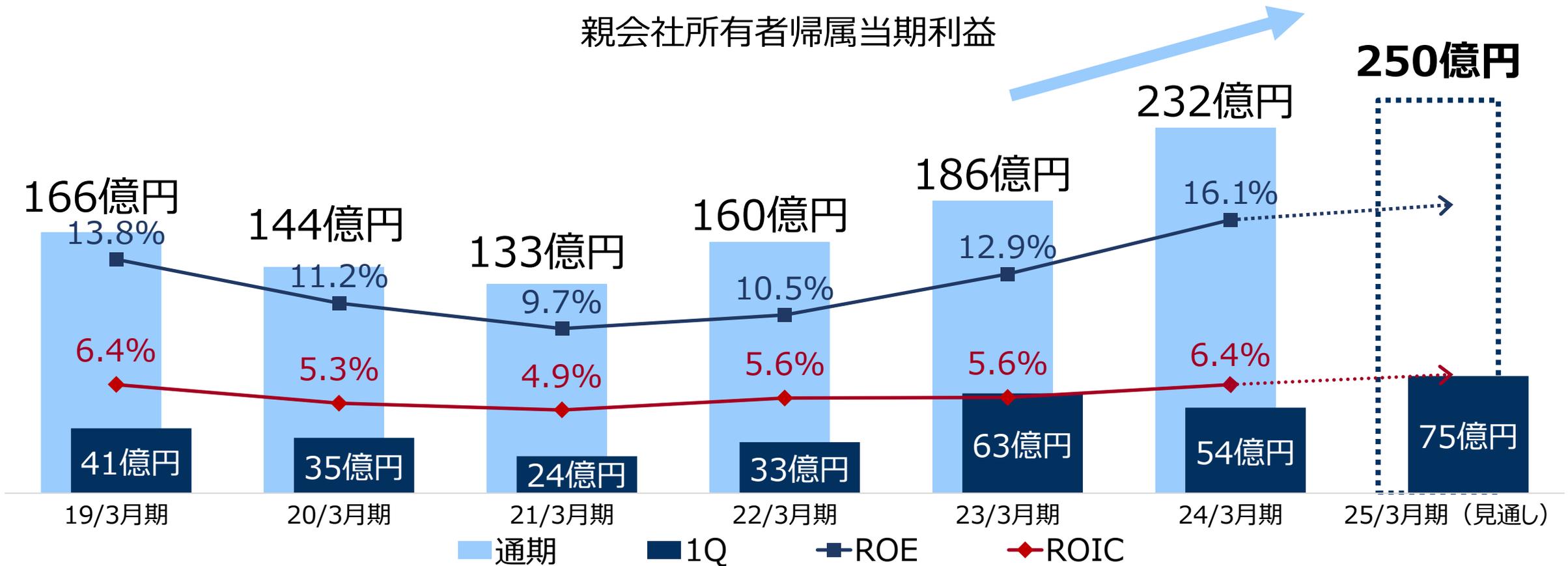
3) ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本

2) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

4) PBR = 期末時点の時価総額 (期末株価 × 発行済み株式数) ÷ 自己資本

# 親会社所有者帰属当期利益の推移

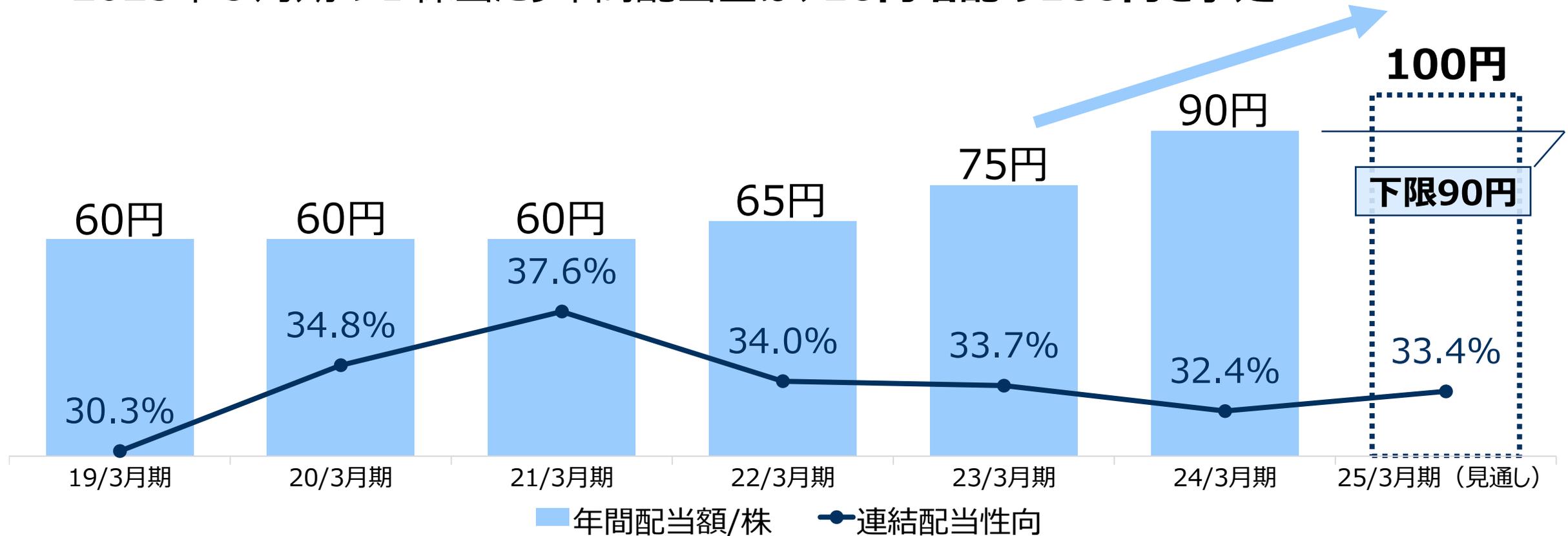
- 2025年3月期通期の当期利益は、前期比18億円増益の**250億円の見通し**
- 第1四半期の四半期利益は75億円となり、第1四半期における**過去最高益**を達成



1) 見通しの前提条件：為替レート1米ドル=135円、円金利横ばい、外貨金利の下落を見込む

# 株主還元

- 中期経営計画「integration 1.0」期間の年間配当金を**下限90円**と定め**累進配当**を実施
- **総還元性向30~35%**を目標に、当期利益の成長に応じて配当金を増額する方針
- 2025年3月期の1株当たり年間配当金は、**10円増配の100円**を予定





兼松株式会社